

函館市交通事業経営計画(第2次)進行管理シート

【平成26年度計画における局内評価結果】

1 財政収支試算等の計画・実績

(1) 財政収支試算

(単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	
事業規模	1日走行キロ(km)	2,735	2,750	2,735	2,755	2,735	2,740	2,735	2,745	2,735	2,741	2,735	2,735	2,735	2,735	2,735
	1日乗客数(人)	16,298	15,988	16,129	15,578	15,981	15,156	15,853	14,272	15,743	14,100	15,651	15,574	15,510	15,461	15,425
	前年増減比(%)	-1.16		-1.04	-2.56	-0.92	-2.71	-0.80	-5.83	-0.69	-1.21	-0.58	-0.49	-0.41	-0.32	-0.23
	車両数(両)	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
	職員数(人)	109	109	107	114	104	105	104	105	108	103	106	106	106	105	105
	正職員数	69	69	69	69	66	67	66	67	66	67	66	66	66	66	66
	嘱託職員等	40	40	38	45	38	38	38	38	42	36	40	40	40	39	39
経常収支	営業収益	1,012	1,023	1,002	991	987	1,005	977	1,010	968	1,000	963	954	948	943	942
	うち料金収入	953	965	942	939	927	944	917	939	907	936	901	892	886	880	878
	営業外収益	293	280	288	286	295	302	300	302	321	518	314	313	302	316	301
	うち一般会計補助金	203	197	198	201	204	215	209	219	230	254	223	222	212	226	211
	経常収益計	1,306	1,303	1,290	1,277	1,282	1,306	1,277	1,312	1,289	1,518	1,276	1,266	1,250	1,259	1,243
	営業費用	1,230	1,202	1,231	1,228	1,171	1,145	1,168	1,167	1,276	1,268	1,219	1,204	1,212	1,233	1,182
	人件費	611	592	626	610	558	538	567	555	670	580	630	584	622	635	606
	うち職員給与費	486	480	490	478	472	440	481	445	489	460	487	493	505	511	517
	うち退職金	37	25	50	49	0	0	0	8	87	14	52	0	26	36	0
	経費	453	433	448	449	449	435	442	430	433	451	427	420	402	393	387
	動力・燃料費	50	47	50	48	50	50	50	51	50	58	50	50	50	50	50
	修繕費	252	236	249	239	255	236	251	235	246	261	244	240	225	220	217
	その他	151	150	148	162	144	149	140	144	137	132	133	130	127	124	121
	減価償却費	166	177	159	169	165	172	160	182	173	237	163	200	188	204	188
	営業外費用	75	61	70	53	65	51	61	46	57	58	59	59	60	60	59
	うち支払利息	31	32	28	27	25	23	23	20	21	17	26	28	28	28	28
	予備費															
経常費用計	1,305	1,263	1,302	1,281	1,237	1,196	1,229	1,213	1,333	1,326	1,278	1,263	1,271	1,292	1,241	
差引	1	40	-12	-4	45	111	48	99	-44	192	-2	3	-21	-33	2	
特別損益	特別利益	118	118	118	85	118	93	118	93	118	394	118	118	118	118	110
	特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	472	0	0	0	0	
	差引	118	118	118	85	118	93	118	93	118	-78	118	118	118	118	110
純損益	118	158	106	81	163	204	166	192	74	114	116	121	97	85	111	
資本的収支	資本的収入	163	153	279	266	317	351	344	470	414	329	291	188	209	162	142
	うち企業債	85	75	146	133	160	150	136	179	350	197	218	149	95	108	90
	うち市・国補助金	78	78	133	132	157	168	209	234	64	64	73	39	114	54	53
	資本的支出	298	296	396	389	399	440	424	559	480	412	367	306	335	256	258
	うち建設改良	120	118	216	209	230	271	265	396	350	272	253	184	224	143	141
うち企業債償還元金	178	178	180	180	169	169	159	163	130	140	114	122	111	113	117	
差引	-135	-143	-117	-123	-82	-89	-80	-89	-66	-83	-76	-117	-126	-94	-116	
補填財源	284	334	265	248	328	375	325	371	247	554	279	321	285	289	300	
単年度資金過不足額	149	190	148	125	246	285	246	282	181	471	203	204	159	195	184	
累積資金過不足額	-1,023	-980	-875	-855	-629	-569	-383	-288	-202	184	1	205	364	560	743	
軌道事業分	31	72	61	112	189	305	317	493	380	184	465	551	592	669	743	
自動車運送事業分	-1,054	-1,052	-936	-967	-818	-874	-700	-781	-582		-464	-346	-228	-110	0	

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(2) 建設改良計画 (単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	
改良施設	軌道改良	200m	200m	400m	400m	400m	434.5m	100m	166m		66m	200m	200m		300m	200m
	分岐器改良	1か所	1か所													
	安全地帯上屋設置	1か所	1か所			1か所										
	駒場変電所改良							実施設計	実施設計	機器製作	本館新設・機器製作	取付等				
	電路改良										基本設計					
	超低床電車購入							1両	1両					1両		
	電車車体改良			1両	1両	1両	1両						1両			
	電車車体大規模改修											2両	1両		1両	1両
建設改良費 計	120	118	216	209	230	271	265	396	350	272	253	184	224	143	141	
財源内訳	企業債	85	75	146	133	160	150	136	179	350	197	218	149	112	91	90
	国補助金	18	18	35	40	35	46	65	89	0		18	18	56	26	26
	市補助金	18	18	35	30	35	35	65	66	0		18	18	56	26	26
	工事負担金						33		57		67					
	自己資金		7		6		7		5		8					
	計	120	118	216	209	230	271	265	396	350	272	253	184	224	143	141

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(3) 一般会計補助金総括表 (単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画								
施設改善関係	222	231	256	265	288	303	316	330	258	283	244	244	270	254	237
減価償却費	131	140	130	138	141	145	140	153	173	188	163	186	174	198	183
企業債償還元利金	74	73	91	89	112	110	102	98	85	81	64	32	30	30	29
LRT関連補助	18	18	35	30	35	35	65	66			18	18	56	26	26
基礎年金拠出金				3		13	9	13		14		9	9		
その他				5											
施設維持保守関係	34	25	34	27	34	33	34	34	34	35	34				
施設等保守費	34	25	34	27	34	33	34	34	34	35	34				
累積資金不足額処理関係	125	120	124	86	123	94	122	94	120	393	119	118	118	118	110
累積資金不足額解消	118	118	118	85	118	93	118	93	118	393	118	118	118	118	110
一時借入金利息	7	2	6	1	5	1	4	1	2	0	1				
合計	381	376	414	378	445	430	471	458	413	711	397	362	388	372	347

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(4) 累積資金不足額の処理計画 (単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
前年度末累積資金不足額	1,172	1,170	1,054	1,052	936	967	818	874	700	781	582	464	346	228	110
処理額	資金不足解消額	118	118	118	85	118	93	118	93	118	781	118	118	118	118
	支払利息	7	2	6	1	5	1	4	1	2	0	1			
	計	125	120	124	86	123	94	122	94	120	781	119	118	118	110
資金不足残額	1,054	1,052	936	967	818	874	700	781	582	0	464	346	228	110	

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(イ) 新たな割引体系の検討および定期券等割引率の見直し
対策内容	「エコロジー・バス(環境定期券)等」新たな料金割引制度の導入検討および通勤・通学定期等の割引率の見直しについて、検討を進める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○増客につながる割引制度・定期券の調査・研究 ○「エコロジー・バス」導入について、関係部局・函バスとの協議	○調査、研究、協議結果に基づく庁内協議および方向付けの整理			○制度実施の是非の決定 《実施の方向性の場合》 ○関係機関との協議 ○予算措置等	
実績・成果	○交通局(当時)と協議のうえ、企画部企画管理課においてこれまでの調査・研究結果をまとめた。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。	休 止	休 止	

平成 26 年度	
評 価	
評価理由	

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(ウ) ICカード等新媒体の調査・研究					
対策内容	ICカード, モバイル等新媒体の調査・研究を行う。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標				○局内協議および導入可否の整理	※当初予定 《実施の方向性の場合》 H26～27 ○導入に向けた基本調査, 関係機関との協議 H28～ ○仕様作成, 積算, 予算措置, 導入実施	○市の交通施策と連携したICカードシステムの導入検討
実績・成果	○実績・成果なし	○実績・成果なし	○導入費用などについて調査した。	○関係機関での協議および道内の先行導入事業者への実態調査および協議を進めた。 ○ICカードシステムの開発業者への調査を行った。	○関係機関との協議や先行導入事業者への実態調査を行った。 ○ICカードシステムの開発業者への調査を行った。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	市・函館バスと連携を図り, 活用できる国の補助制度や先行導入事業者への調査, ICカードシステムの開発業者からの情報収集等を行い, 導入に向けた検討を進めた。

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(ア) 職員の接客マナーと企業意識向上の徹底					
対策内容	職員全員に対し、乗客接客マナーの向上を図るとともに、企業意識の徹底に努める。また、利用者の意見等を積極的に伺うための方策を検討する。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○乗務員を対象とした接客研修を実施する。	○乗務員、窓口業務を中心とした接客研修を実施する。	○運輸サービス業に適した講師による接客研修を実施する。 ○ホームページ等による利用者の意見等を伺う方策を検討する。	○全職員を対象とした接客研修の実施 		
実績・成果	○添乗指導での接客のあり方の実践指導を行った。 ○事故防止研修会開催時の接客研修を行った。	○添乗指導での接客のあり方の実践指導を行った。 ○事故防止研修会開催時の接客研修を行った。 ○企業局および市役所で実施した接客研修やクレーム研修に乗務員、電車内勤者等の現場対応者を参加させた。	○運輸サービス業に適した講師による接客向上リーダーを対象にした研修と職場でのグループワーク等を行った。	○運輸サービス業に適した講師による接客向上リーダーを対象にした研修と職場でのグループワーク等を行った。	○運輸サービス業に適した講師による接客向上リーダーを対象にした研修と職場でのグループワーク等を行った。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	接客マナーの向上を効果的に図るため、全乗務員を対象とした研修を行った。

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(イ) 乗客需要に見合った営業時間および運行間隔の再構築					
対策内容	乗客需要に対する効率・効果的な営業時間, 運行時分, 本数・間隔等について検討を行い, 運行体制の再構築を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○現行ダイヤの検証			○検証結果や乗客動向から, ダイヤ改正について検討する。		○新幹線開業後の乗客動向や, 実施してきた増車・間引き運行の検証 ○利便性と収益性を考慮した運行体制の検討
実績・成果	○6年ぶりとなるダイヤ改正(大幅改正は平成5年度以来)を行った。 ○ダイヤ改正時に予想した運行密度の検証を行った。(区間時分延長により, 乗り残しの発生がないか等)	○時期に合わせた増車運転を行い, 利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○運行実態調査を行い, 所要時間等の乖離がないか調査をした。	○時期に合わせた増車運転を行い, 利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○今年度は, 節電に合わせて間引き運転を行ったが, 大きな混乱は無かった。	○時期に合わせた増車運転を行い, 利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○昨年度に引き続き, 節電に合わせて間引き運転を行ったが, 大きな混乱は無かった。 ○北海道新幹線の開業後の乗客動向を検証したうえで, ダイヤ改正等を検討することとした。	○時期に合わせた増車運転を行い, 利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○昨年度に引き続き, 節電に合わせて間引き運転を行った。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	<p>混雑時期や時間帯, イベント開催時などで遅延が生じないよう増車運行を行ったほか, 節電に合わせた間引き運転の際には, 電停やホームページ等での事前周知により影響なく実施でき, 効率的な運行が図られている。</p>

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(ア) 電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度の推進					
対策内容	電停周辺の企業に対し、電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度のPRおよび利用勧誘を積極的に働きかける。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標						
実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 【五稜郭公園前電停】 ○野村証券 【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫 	<ul style="list-style-type: none"> 【五稜郭公園前電停】 ○野村証券 【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫 	<ul style="list-style-type: none"> 【五稜郭公園前電停】 ○野村証券 【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫 	<ul style="list-style-type: none"> 【五稜郭公園前電停】 ○野村証券 平成25年9月で契約終了 【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫 	<ul style="list-style-type: none"> 【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫 ○ネーミングライツ制度のあり方を検討した。 	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	魚市場通電停(函館信用金庫)の更新のみで、新たな利用申し込みがない状況にあるため、制度の条件や勧誘手法のほか、電停広告も含めた検討を行っている。

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(イ) 車内・車外使用による新規広告商品の開発・販売					
対策内容	車内および車外を利用した、新たな広告商品の開発と市内・市外企業へのホームページ等を活用した販売促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○新たな広告商品の開発と販売促進					
実績・成果	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」 ○「車内ストラップ広告」	○芸能人の吹き替えによる電停案内を行った。 ○車体の部分ラッピング広告	○企業の記念イベントにより、期間限定の車体広告を行った。 ○車内にミントの鉢植えを置くなど、新たな広告手法を試行し、話題になった。	○低床車両1両全体を新幹線デザインにする、新幹線開業に向けたPR広告が実施された。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	北海道新幹線開業に向けたPR広告として、低床車両1両について、窓枠部分(バナー)を含めた車体全体を新幹線デザインにするという新たな広告を実施した。

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(ウ) 広告料金の改定についての検討					
対策内容	広告料金の単価等の改定について検討する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○広告料金の調査・研究					
	○他の軌道事業者の広告料金を調査する					
実績・成果	○公営他事業者, 4者の調査を実施した。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。	休 止	休 止	

平成 26 年度

評 価	
評価理由	

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(イ) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売					
対策内容	電車の意匠を活用したオリジナルグッズの開発促進と販売を充実・強化し、電車事業のイメージアップと収入増加を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	<p>○オリジナルグッズの開発・販売促進の充実・強化</p> <p>○電車事業のイメージアップと収入増加</p> 					
実績・成果	<p>【商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カレンダー ○時計 ○箱館ハイカラ號のダイキャストカー ○箱館ハイカラ號とハローキティのコラボ商品 ○定期券レプリカキーホルダー 	<p>【新規商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都の交通100周年とコラボしたDVD ○鉄道むすめのキャラクターを利用した「マナーポスター」や「ドア挟み注意ステッカー」 	<p>【新規商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道むすめキャラクター「ミニスタンプ」と「IDカード風バッジ」のセット ○函館市電8000形プラモデル ○特製バッジとオリジナルフレーム切手セットほか 	<ul style="list-style-type: none"> ○販売を継続するオリジナルグッズを整理した。 <p>【新規商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○DVD・鉄道むすめキャラクター「キーチェーン」 <p>【100周年記念商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○100周年記念誌・オリジナルフレーム切手・クリアファイル・USBメモリー・ポスター 	<ul style="list-style-type: none"> ○販売を継続するオリジナルグッズを費用対効果を勘案し、さらに整理した。 ○主力商品のダイキャストカー「らっくる号」の新幹線カラーバージョンの作成を検討した。 	

平成26年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	昨年度に引き続き、既存のオリジナルグッズの販売実績等に基づく整理や今後の販売方法の検討を進めた。また、主力商品のらっくる号のダイキャストカーは、新幹線カラーバージョンの作成を検討した。

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施					
対策内容	路面電車の日や路面電車感謝祭等の行事を通じて、市民等の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○路面電車感謝祭等イベント開催による広報活動の実施					
実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行 	<ul style="list-style-type: none"> ○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行 	<ul style="list-style-type: none"> ○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行 ○函館キッズタウンに参加 	<ul style="list-style-type: none"> 【100周年イベント】 ○開業100周年記念大正時代の花電車出発式、100円均一運行、車内絵画展等 【その他のイベント】 ○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行 	<ul style="list-style-type: none"> ○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行 	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	路面電車感謝祭をはじめとする各種催しなどを継続実施した。

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(ウ) 街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充					
対策内容	定期的に利用促進の街頭キャンペーンを行うほか、ゴールデンウィークや夏休み等観光シーズンを中心に函館駅前、湯の川温泉等で観光客に対する電車・観光地案内を実施する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充					
実績・成果	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を開催し、路面電車を利用した観光案内等を行った。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトトラム)運行に合わせ、湯の川地区のホテルを訪問し、PR活動を行った。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトトラム)運行に合わせ、湯の川地区等のホテルを訪問し、PR活動を行った。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトトラム)運行に合わせ、湯の川地区等のホテルを訪問し、PR活動を行った。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	函館駅前や湯の川温泉で実施した観光案内において、一日乗車券を利用した観光を勧め利用促進を図った。また、深夜便運行の際にはホテル等に周知を図り、PR活動を行った。

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(I) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大				
対策内容	沿線周辺の企業や商店街等と協力し、セール、イベント等の連携など地域ぐるみでの利用拡大を図る。				
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大					
実績・成果	○中島れんばい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○湯の川電停のイルミネーションを実施した。(湯川商店街振興組合) ○バル街電車を運行した。	○中島れんばい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○黒船イベントに開催に係る増車運行を行った。(函館黒船地域活性化協議会) ○バル街電車を運行した。	○前年度までの取り組みについて継続して実施した。 ○新たに、自由市場と協力し、電車専用一日乗車券提示による割引案を取り決めた。	○前年度と同様な取り組みを、継続して実施した。 ○自由市場で買い物した際、電車専用一日乗車券を提示することで、100円のキャッシュバックが受けられるサービスが実施された。 ○GLAYのコンサートに合わせた増車運行やオリジナル1日乗車券の作成・販売を行った。	○中島廉売・自由市場の取り組みやバル街実行委員会への協力など前年度と同様に、継続して実施した。 ○はこだて国際科学祭(キャンパスコンソーシアム主催(各大学集合体))のイベント開催で貸切電車を運行した。	

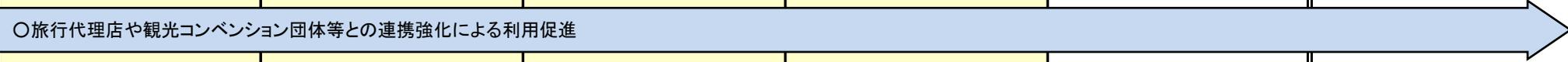
平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	地域企業や団体等との連携により、電車広告や貸切電車の運行が実施されるなど、電車沿線地域で開催される各種イベントに市電が活用された。

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(オ) 旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進
対策内容	旅行代理店・観光施設・観光コンベンション団体等との連携を強め、修学旅行の誘致等を行い、また各種パンフレット等に市電に関する内容を掲載し、観光客等に対し情報提供するとともに、市電乗車券を含んだ旅行パック商品等の拡大に努める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度	
実施計画・対策目標	○旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進 						
実績・成果	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーの車内積み込みを実施した。	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○大規模コンベンション開催時に「第○回☆☆大会歓迎」の表示を行った。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーを車内に積み込んだ。 ○市電を利用した社会学習コースを提案し、修学旅行を誘致した。	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○大規模コンベンション開催時に「第○回☆☆大会歓迎」の表示を行った。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーを車内に積み込んだ。 ○市電を利用した社会学習コースを提案し、修学旅行を誘致した。 ○パック旅行に組みやすい商品として、旅行会社のオリジナル一日乗車券を発行した。	○前年度と同様、旅行代理店等との連携による利用促進を図った。 ○新たな企画として、平成26年度に函館港に入港するクルーズ船の乗客を対象とした、市電を利用した観光プランが、旅行代理店との連携により商品化された。	○前年度と同様、旅行代理店等との連携による利用促進を図った。 ○クルーズ船の乗客を対象とした、市電を利用観光プランを旅行代理店と連携し販売した。 ○インバウンド観光誘致の一環として、旅行関連会社にレトロ電車での宣伝活動を行った。		

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	前年度同様、ツアーや修学旅行時の市電を利用した社会学習等を提案したほか、函館港に入港するクルーズ船乗客向けの市電を利用した観光プランを、旅行代理店との連携により販売できたなど、観光客の利用促進に努めた。(H26修学旅行391件、ツアー33件) また、函館市のインバウンド観光誘致の一環として、海外の旅行関連会社の担当者にレトロ電車の乗車体験をしてもらい、市電を利用した函館観光を宣伝した。

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(カ) 交通事業等についての情報発信の強化
対策内容	市内公共交通機関との連携や民営バスとの乗継制度等についての周知のため、広報を強化し、地域の交通体系に関する情報発信に積極的に参画する。また、ホームページに、多言語表記による概要やブログ形式記事の登録等内容の充実を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度	
実施計画・対策目標		○乗継制度等についての周知のための広報の検討・実施					
		○広報活動およびインターネットを活用した情報発信の強化について検討する					
		○情報発信強化についての方法を検討・ホームページの内容の充実					
実績・成果	○乗り継ぎ制度等について、函館バスと協力し、車内にポスターを掲示した。 ○ホームページ掲載の路線図を英語表記を追加した。	○電停広報装置を設置し、遅れなどの運行障害発生情報の発信を開始した。 ○ホームページ掲載の路線図を多言語表記にした。	○電停広報装置を活用し、車両故障や遅延に対する情報を発信した。 ○路面電車開業100周年イベント等の情報をホームページやフェイスブックで発信した。	○電停広報装置を活用し、車両故障や遅延に対する情報を発信した。 ○路面電車開業100周年イベントや日々の情報をホームページやフェイスブックで発信した。 ○JIS規格等に対応したシステムを導入する市ホームページへの移行作業を進めた。	○電停広報装置を活用し、車両故障や遅延に対する情報を発信した。 ○SNSでの情報提供を継続したほか、JIS規格対応の市ホームページに統合した。 ○函館駅前電停には、未来大学との連携協力した多言語表記の乗り案内を設置した。		

平成26年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	<p>運行遅延発生時等においては、電停広報装置やツイッター（ホームページにも表示）等を活用し、利用客への速やかな情報提供を行った。また、独自に運用していたホームページは、新たなシステムを導入した市ホームページへ統合することにより、JIS規格や多言語化等への対応を図った。</p> <p>改修した函館駅前電停には、未来大学との連携により作成した多言語表記の乗り案内を設置した。</p>

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ア) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立					
対策内容	毎年度、事務事業の点検・見直しを実施し、状況に応じた効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立					
	○前年度の実績評価と再検討					
実績・成果	○公営企業管理者を置かないこととし、並行して水道局との組織統合と管理業務の統合について検討および協議を重ねた。	○水道局との統合により、管理業務の効率化を図った。 ○安全管理体制の強化・確立を図るため、安全推進課を設置した。	○水道局と統合した中で、業務の効率化が図られ、新たな安全管理体制が定着した。	○乗務経験や専門的な知識を有する人材を将来にわたり確保し、技術継承および安全管理体制の向上を図るため、職種変更試験制度を新設した。 ○水道局と統合したメリットを生かし、今後の円滑な事務引き継ぎのための人員配置を行い、収納業務効率化の検討にも着手した。	○新設した職種変更試験制度に基づき、試験を実施した。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	将来的に必要となる乗務経験や専門的な知識を有する人材を育成する観点から、職種変更試験合格者の的確な配置を行った。

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(イ) 施設整備業務および管理業務の外注化, 嘱託化推進による人件費の抑制					
対策内容	技術職員, 事務職員等の担当業務について, アウトソーシング推進の見地からの評価を行い, 外注化・嘱託化を推進し, 人件費総額の抑制に努める。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○各所属における業務の効率化の検討	○施設整備業務の外注化拡大に向け, 各種課題の解決を図る。 ○管理業務の嘱託化に向けた課題を整理・実施する。	・外注化および嘱託化の効果の検証 ○施設整備業務の外注化の拡大			
実績・成果	○施設整備業務のうち, 電路設備業務と車両整備業務について委託業務の拡大を目指し, 検討した。	○水道局との統合による業務の効率化(管理業務の統合)を図り, 管理業務の嘱託化をH24年度から実施することとした。 ○施設整備業務については, 委託体制の課題があり, 外注拡大に至らなかった。	○施設整備業務については, 委託体制の課題があり, 外注拡大に至らなかった。	休 止	休 止	

平成 26 年度	
評 価	
評価理由	

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ウ) 事業経費等の総点検によるコスト縮減					
対策内容	事務事業に係る経費について総合的な点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○業務内容の精査・事業経費の削減			○前年度の実績評価と再検討		
実績・成果	○ダイヤ改正を行ったことによる走行キロ減における消耗品や電力量の削減を図った。 【1日あたり走行キロ】 3007.970km/平日 →2711.618km/平日・夏	○企業局の設置に伴い管理部門を一本化したことで、業務の効率化を図り、共通経費の削減を行った。	○消耗品の節約や照明のこまめな減灯等により経費の削減を図っている。	○平成24年度までに徹底した経費の削減に取り組んできており、引き続きコスト縮減を図っていく。	○消耗品の節約や照明のこまめな減灯および未使用電子機器の電源オフなどの徹底を図った。	

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	昨年度に引き続き、日常業務における経費節減に努めた。

4 一般会計からの補助

(1) 施設改善関係に対する補助について

対策項目	
対策内容	安定的な経営を図るための施設改善関係を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①減価償却費 ②企業債償還元金および一借利息 ③LRT関連補助 ④基礎年金拠出金ほか
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】
	①	①	①	①	①	①
	②	②	②	②	②	②
	③	③	③	③	③	③
	④	④	④	④	④	④
	合計	合計	合計	合計	合計	合計
実績・成果	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】
	①	①	①	①	①	①
	②	②	②	②	②	②
	③	③	③	③	③	③
	④	④	④	④	④	④
	合計	合計	合計	合計	合計	合計

平成 26 年度	
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	概ね計画どおりの補助金額となった。

5 累積資金不足額の処理

(1) 計画期間を目途とする累積資金不足額の解消について

対策項目	(ア) 一般会計補助金による年次の処理					
対策内容	市営バス事業に起因し、第1次経営計画から引き継いだ不良債務(累積資金不足額)について、本計画期間を目途とする年次計画により解消を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	前年累積額	-1,172 百万円	-1,054 百万円	-936 百万円	-818 百万円	-700 百万円	H27～H31の5か年合計 解消額 582 百万円 軌道事業補填 363 百万円 H31末不足額 743 百万円
	解消額	118 百万円	118 百万円	118 百万円	118 百万円	118 百万円	
	不足残額	-1,054 百万円	-936 百万円	-818 百万円	-700 百万円	-582 百万円	
	軌道事業補填	31 百万円	61 百万円	189 百万円	317 百万円	380 百万円	
不足額合計		-1,023 百万円	-875 百万円	-629 百万円	-383 百万円	-202 百万円	
実績・成果	前年累積額	-1,170 百万円	-1,052 百万円	-967 百万円	-874 百万円	-781 百万円	H27～H31の5か年合計 解消額 - 百万円 軌道事業補填 184 百万円 H31末不足額 - 百万円
	解消額	118 百万円	85 百万円	93 百万円	93 百万円	781 百万円	
	不足残額	-1,052 百万円	-967 百万円	-874 百万円	-781 百万円	0 百万円	
	軌道事業補填	72 百万円	112 百万円	305 百万円	493 百万円	184 百万円	
不足額合計		-980 百万円	-855 百万円	-569 百万円	-288 百万円	0 百万円	

平成 26 年度

評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	<p>バス事業の不良債務については、一般会計と協議のうえ、平成26年度補正予算においてバス不良債務解消補助金の増額と軌道事業からの財源充当により平成26年度末で解消した。また、交通事業会計全体の不良債務についても、計画より1年早く解消した。</p>

6 走行環境の改善

(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(ア) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続
対策内容	運行の安全性と定時制を確保するため、電車優先信号設置や信号調整等について、引き続き関係機関と協議する。また、一般車両の軌道敷地内乗入規制措置等の強化を国に対し、引き続き要望する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○【電車優先信号】必要時に応じた関係機関との協議					
	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握する。 ○電車優先信号の必要性の検討 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。	【電車優先信号】 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。				
実績・成果	○【軌道敷内乗入規制措置等の検討】実現に向けた検討					
	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握した。 ○電車優先信号の必要性を検討した。 ○管制に信号調整を依頼した。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出し、部内協議を行った。	○信号調整については、引き続き依頼したが、管制から実施については現実的に多くの課題があり難しいとの話があり、現状で実施困難と判断した。 ○運行障害に係る具体案を抽出。(軌道敷内の右折等)	○他事業者の状況を調査したが、併用軌道であることから現状では規制する手段が無いと判断した。	休 止	休 止	

平成 26 年度

評 価	
評価理由	

6 走行環境の改善

(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(イ) 軌道敷内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化
対策内容	自動車運転免許試験場や自動車学校等を通じて、軌道敷内の電車優先運行啓発リーフレットを継続して配布し、周知徹底を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度	
実施計画・対策目標	○リーフレットの内容や配布方法などを見直し、より効果的な啓発に努める。 						
実績・成果	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ・JRA駐車場にて来場者へ配付し周知を図った。 ・丸今井井駐車で来客者へ配付し周知を図った。 ・交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ・タクシー協会に配付しタクシー乗務員へ周知を図った。 ・自動車学校に配付し受講者等へ定期的な周知を図った。 ・交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。	○新しい啓発用リーフレットを作成した。 ○引き続き啓発リーフレットを配付し、周知に努めた。 ○路上駐車の影響により、軌道敷内に車両が進出する箇所について、警察に指導をお願いした。	○昨年前倒しで製作した、新しい啓発リーフレットを交通安全運動の期間にドライバーに配付した。 ○自動車学校の高齢者講習やタクシー会社を通じて、啓発リーフレットが配付された。 ○路面電車専用信号についての周知を図るため、ホームページに掲載した。	○各交通安全運動期間中や、自動車学校の高齢者教習で啓発リーフレットの配付が実施できた。 ○公安委員会との協議により、運転免許試験場にリーフレットを設置することができた。 ○レンタカー会社には、リーフレットの設置と利用者への注意喚起を依頼した。		

平成 26 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	ドライバーへの周知を図るため、交通安全運動期間中の取組や自動車学校の高齢者講習を通じて啓発リーフレットを配付できた。また、公安委員会との協議により、運転免許試験場にリーフレットを設置できたほか、レンタカー会社にも働きかけ、リーフレットの設置と利用者への注意喚起を依頼し、啓発活動の強化に努めた。